

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

外 国 語

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Unit を「扉」「Preview」「Scene」「Mini Activity」「Read and Think」などで構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、「扉」では、「Point of View」において、単元を貫く問いを通して題材への興味を高めたり、「Small Talk!」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、積極的に世界とつながろうとする心を育むための「SDGs」（注1）に関連した題材や、他教科での学びを英語の視点で学ぶ「CLIL」（注2）に関する題材などを用いる工夫がなされている。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Program を「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、「Scenes」では、場面絵を用いて新出表現をまとめて導入したり、「Try」「Interact」「Our Project」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、「世界の中の一市民」として豊かな心を育むための「SDGs」に関連した題材や、フィンランド訪問、海外の屋台料理などの異文化理解に関する題材などを用いる工夫がなされている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Lesson を「とびら」「Get」「Use」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、「とびら」では、学ぶ内容への動機付けをし、学びに向かう力を高めたり、「Take Action! Talk」「USE Speak」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、現実の課題に対応できる人材を育む「SDGs」に関連した題材や、日本の漫画とアニメなどの生徒の知的好奇心や興味・関心に合わせた題材などを用いる工夫がなされている。</p>

（注1）SDGs（2015年国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標）

（注2）CLIL（内容言語統合型学習：他教科の学習内容を英語で学ぶ活動）

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Lesson を「扉」「Part」「Review」「Task」「Grammar」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、巻末の「Activities Plus」では、帯活動を活用し即興で話す力を身に付けさせたり、各 Part 末の「Project」では、4 技能を使って発信する活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、人や自然を大切に、共に生きていこうとする理念に基づく「SDGs」に関連した題材や、他教科や学校行事・活動と連携して学習できる題材などを用いる工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Unit を「扉」「Part」「Goal」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、各 Unit と帯教材「Story Retelling」を並行して学習することで、即興で話す力を高めたり、プロジェクト型の「You Can Do It!」の学習を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、世界への視野を広げ、国際理解を深める「World Tour」や「SDGs」など、実社会の問題に関連した題材や、他教科の学習等と結び付けた深い学びにつながる題材などを用いる工夫がなされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Unit を「とびら」「Part」「Read &amp; Think」「Express Yourself」「More Information」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>次に、「Let's Talk(Listen, Read)」では、各技能を関連付けて学習して表現力を高めたり、「Project」では、即興で聞き手を意識した言語活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。</p> <p>また、日本や世界で起こっていることや、人間のいとなみを知る「SDGs」に関連した題材や、他教科の学習等と結び付けた題材などを用いる工夫がなされている。</p>

(注 1) SDGs (2015 年国連サミットで採択された 17 の持続可能な開発目標)

(注 2) CLIL (内容言語統合型学習：他教科の学習内容を英語で学ぶ活動)

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 自ら意思や情報を伝え合ったり、協働して問題解決に当たったりする活動として、「Read and Think」を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Grammar for Communication」では、「Use」「Form」「Let's Try!」など、コミュニケーションを支える文法や場面、文脈を意識した確認問題を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) Unit 後の「Stage Activity」では、学んだことを表現する活動や「話す」「書く」といったパフォーマンス活動を通して、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 自ら本文を読んだ後に、多様なものの見方や考え方を共有できるような問いとして「Share」を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Scenes」では、つながるストーリーの設定で新出表現がどのような場面や状況、目的で使用されるのか視覚的に理解できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) Program 後の「Our project」では、身近な場面から社会的な場面まで英語を使う力を育てたり、振り返る段階「Go」を設定したりするなど、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 自ら読んだ内容について、自分の思いや考えを英語で話したり、書いたりする活動「in English」を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 「GET Plus」では、3コマのイラストを使用し、会話中の表現と言語の働きを整理し、実際のコミュニケーションで活用する力を養うなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) Lesson 後の「Project」では、既習事項を活用する力を高めたり、「Take Action! Talk」「USE Speak」では、討論の場を設定したりするなど、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 自ら主体的に英語を運用できるように、様々な話題の質問や応答例を練習する「Activities Plus」を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Tips」では、コミュニケーションを効果的に行う、4技能を高めるためのコツが練習場面とともに示されており、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) Lesson 後の「Project」では、主体的に課題解決する学習活動を設定したり、日常の場面を基にした「Useful Expressions」を設定したりするなど、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 自分を対象に考えたり、友達や先生と対話しながら考えを深めていく「Think」の問いを各 Unit の本文の最後に設定したりするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Goal」では、身近なテーマを基に、身に付けた4技能を活用しながら表現活動を充実させる場を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) Unit 後の「You Can Do It!」では、コミュニケーションの目的に応じて伝える内容や表現を協働して考える「Thinking」の活動を設定するなど、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) ペアやグループで、自分の意見や考えを伝え合ったり、理解し合ったりする「Use」の活動場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Practice」では、新出表現について、絵を使って語彙や文法事項を適切に配置し、十分な練習が行える活動を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) 単元末の「Express Yourself」では、学んだことを表現をしたり、単元後の「Project」では、長めの英語で発信したりする活動を設定するなど、未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現等」の力を育成できるように工夫がなされている。</p>

### 3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 既習の単語をまとめた「小学校の単語」、各題材の背景知識となる「column コラム」、自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Tool Box」、音と文字の関係をおさえる「Sounds and letters」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、「Grammar for Communication」や「学び方コーナー」、本文と単語の音声を読み込める「QR コード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。
9 開隆堂	(1) 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Word Web」や「Word Box」「Expression Box」、発音とつづりの関係を体系的に学ぶ「発音クリニック」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、表現するための技能を身に付ける「Steps」やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「英語のしくみ」、本文の音声を読み込める「QR コード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。
15 三省堂	(1) イラスト付きの基礎的な語句をまとめた「Word Bank」、各題材の背景知識となる「Notes」、場面設定を活かした基礎的な会話練習を行う「GET Plus」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、レッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「文法のまとめ」や自律的学習者を育てるための「For Self-study」、音声や動画を効果的に活用して学ぶ「QR コード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。
17 教 出	(1) 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Tool Kit」や「And More Words」、英語を聞くとき、読むとき、話すとき、書くときのコツやルールについて学ぶ「Tips」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、読み物資料における注釈的な語句への日本語訳やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「Grammar」、本文の音声を読み込める「QR コード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 自己表現に役立つ単語をまとめた「<b>Word Board</b>」、実社会に即したコミュニケーションの目的や場面・状況を設定した「<b>Daily Life</b>」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、文構造や文法の知識を言語の使用場面と結び付けて整理した「<b>Active Grammar</b>」、本文スライドアニメや音声、帯教材「<b>Let's Talk!</b>」の実写映像等を読み込める「<b>QR コード</b>」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 自己表現に役立つ語句をまとめた「<b>Tool Box</b>」や「<b>Word Box</b>」、日本語による情報コーナー「<b>Notes</b>」、Unit のテーマ・内容に関する補足資料「<b>More Information</b>」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、各 Part の「<b>Target</b>」で学んだ文法を振り返る「<b>Target のまとめ</b>」、本文と新出語句の音声に加えて、文字も読み込める「<b>QR コード</b>」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。</p>